

## 本時のねらい

友だちの書いた文章からよい表現を見つけて交流し、自分の原稿と見比べ、様子を表す言葉を付け加えるなどして、文章をよりよくなる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

オクリンクを活用して友だちと文章を共有し、分かりやすい表現に気付くことで、自分の文章を推敲し、よりよくしようとする。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・テレビ
- ・ミライシード (オクリンク)

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○めあての確認 「友だちの文章から分かりやすかった書き方を話し合っ て、自分の文書をより分かりやすい文章にしよう」	・前時にオクリンクの中にカメラで撮った原稿を取り込んでおき共有 しておく。分かりやすかった部分をあらかじめ精選することで、話し 合いをよりスムーズにする。
展開 (40分)	○友だちの発表原稿を見て、わかりやすかった言葉や表現 を話し合う  ○全体で交流する  ○送られた自分の原稿を見て発表原稿をよりよくなる	・オクリンクに線が引かれているので、見せ合うことでなぜそこに線を 引いたのかという理由について意見交換することができる。  ・グループの中で紹介したいものをオクリンクで教員に送信するこ とで、全体交流で選んだものを共有しやすくする。 ・必要に応じて画面を拡大できるので分かりやすい表現に注目さ せる。  ・オクリンクで他の児童が線が引いたものをまとめて返却するこ とで、友だちが自分の原稿のどの部分をよと思ったのかをその時 間中に知ることができる。 ・複数の児童から線が引いてもらった箇所はよい表現である反 面、線が無い部分がまだ工夫できる余地のある点であることが 視覚的にわかりやすい。
まとめ (5分)	○学習のふりかえりをする	

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：友だちが作った原稿の良い部分をグループで交流している場面



写真2：友だちの原稿のどこがよかったかを全体交流している場面



写真3：よい表現に線の入ったものを送り合い、自分の原稿を改めて推敲している場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・タブレットで原稿を送り合うことで、紙を用いて交流するよりも多くの友だちの書いた文章を共有することができていた。
- ・授業前と比較して「送る」、「書く」といったタブレット活用に関する簡単な技能は円滑にできる児童が多くなった。今後、文字が入力できるとさらに活動の幅が広がると感じた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・手書きの原稿をそのままカメラ機能で撮影して友だちに送り、そのデータにペン機能で直接書き込み返信することで、フィードバックや友だちの良さを伝えることができる。
- ・文字入力が難しい低学年の子どもでもオクリンクは簡単に活用することができた。
- ・紙なら1対1でしかできないやりとりが、タブレットを使うと複数でやりとりでき、評価をもらうことができた。